

節分にちなみ一人一人鬼のお面を付けて「豆まき」をしました。

2月3日の節分を前に、1日(木)にクラスごとに記念撮影、2日(金)に豆まきの2日間に分けて「豆まき」の行事を行いました。

1日(木)の記念撮影では、子どもたちは頭に製作した色とりどりの鬼のお面をつけ、かわいらしい豆入れを持ってりす組前のテラスでクラスごとに写真を撮りました。



2日(金)はいよいよ「豆まき」です。最初に園長先生から「節分」と「豆まき」の由来などについて話を聞きました。そして心の中の「意地悪をする鬼」「すぐ泣いてしまう弱虫の鬼」などを追い出しましょう！という話がありました。



いよいよ「豆まき」の始まりです。園庭には、「青鬼、赤鬼、緑鬼」のが子どもたちを待ち構えています。クラスごとに、豆を投げて鬼を退治します。豆まきが始めると、鬼たちは子どもたちを追いかけまわします。しかし、子どもたちは負けじと豆を鬼に投げつけます。鬼が少しずつ弱っていく司会の先生の合図で「鬼は外！福は内！」とまわりで応援している子どもたちみんなで鬼を追い払いました。年少組さんは鬼を怖がらずに、年中組さんも年長組さんに負けない元気で豆まきをしました。みんな心の中の鬼をしっかりと追い出しました。